



## 第26回 日本臨床環境医学会学術集会

The 26th Annual Meeting of the Japanese Society of Clinical Ecology

大会テーマ：環境の健康への影響とより良い環境づくり

### プログラム・抄録集

2017年6月24日（土）・25日（日）

東海大学高輪校舎

会長：木村穰（東海大学医学部）

The 26th Annual Meeting of the Japanese Society of Clinical Ecology

第26回 日本臨床環境医学会学術集会  
プログラム・抄録集

大会テーマ：環境の健康への影響とより良い環境づくり

会期：2017年6月24日（土）・25日（日）

会場：東海大学高輪校舎

会長：木村穰（東海大学医学部）

主催：日本臨床環境医学会

協賛：室内環境学会、東海大学

日程表

2017年6月24日(土)

時間	内容	場所
9:00 - 9:05	開会宣言・来賓あいさつ	2号館1階 2B101 大講義室
9:05 - 9:55	一般講演1	
9:55 - 10:05	休憩	
10:05 - 11:05	シンポジウム I	
11:05 - 11:15	休憩	
11:05 - 12:00	特別講演	
12:00 - 12:15	総会・評議会	
12:15 - 13:15	昼食	
13:15 - 14:15	一般講演2	
14:15 - 14:25	休憩	
14:25 - 15:15	一般講演3	2号館1階 2B101 大講義室
15:15 - 15:25	休憩	
15:25 - 16:15	一般講演4	
16:15 - 16:25	休憩	
16:25 - 17:15	一般講演5	
17:15 - 17:15	休憩	
17:25 - 18:35	シンポジウム II	
18:45 - 20:45	懇親会	4号館地下1階 食堂コモドール

2017年6月25日(日)

時間	内容	場所
9:00 - 9:40	一般講演6	2号館1階 2B101 大講義室
9:40 - 9:50	休憩	
9:50 - 10:30	一般講演7	
10:30 - 10:40	休憩	
10:40 - 12:00	シンポジウム III	
12:00 -	表彰式・閉会	
13:15 - 16:15	市民公開シンポジウム	

プログラム

6月24日(土)

9:00 - 9:05 開会宣言 第26回臨床環境医学会学術集会会長 木村穰(東海大学医学部)  
来賓挨拶 東海大学学長 山田清志

9:05 - 9:55 一般講演1 座長 大槻剛巳(川崎医科大学)

O-01 住宅の床下へのネオニコチノイド系殺虫剤含有防蟻剤水溶液の散布は安全か? -事例に学ぶ危険回避への提言  
平久美子(東京女子医科大学東医療センター麻酔科)

O-02 最新データを用いた QEESI の MCS 患者スクリーニング用新基準値の検討  
水越厚史<sup>1,2)</sup>、北條祥子<sup>2,3,4)</sup>、東賢一<sup>1)</sup>、奥村二郎<sup>1)</sup>、宮田幹夫<sup>2,5,6)</sup>、坂部貢<sup>2,6,7)</sup>、水城まさみ<sup>2,8)</sup>、小倉英郎<sup>2,9)</sup>、大友守<sup>2,10)</sup>、石川哲<sup>2,6)</sup>

1) 近畿大学医学部、2) 早稲田大学応用脳科学研究所・生活環境と健康研究会、3) 尚絅学院大学、4) 東北大学、5) そよ風クリニック、6) 北里大学、7) 東海大学医学部、8) 国立病院機構盛岡病院、9) 国立病院機構高知病院、10) 国立病院機構相模原病院

O-03 化学物質過敏症患者、喘息患者、自己申告電磁過敏症患者、および一般人の自覚症状比較および自覚症状と他覚的臨床検査結果との相関関係の検討  
北條祥子<sup>1,2,3)</sup>、水越厚史<sup>1,4)</sup>、宮田幹夫<sup>1,5,6)</sup>、水城まさみ<sup>1,7)</sup>、大友守<sup>1,8)</sup>、小倉英郎<sup>1,9)</sup>、釣木澤尚実<sup>1,8,10)</sup>、押方智也子<sup>1,8,10)</sup>、坂部貢<sup>1,6,11)</sup>、東賢一<sup>4)</sup>、石川哲<sup>1,6)</sup>

1) 早稲田大学応用脳科学研究所・生活環境と健康研究会、2) 尚絅学院大学、3) 東北大学、4) 近畿大学医学部、5) そよ風クリニック、6) 北里大学、7) 国立病院機構盛岡病院、8) 国立病院機構相模原病院、9) 国立病院機構高知病院、10) 国立病院機構埼玉病院、11) 東海大学医学部

O-04 ペット用建材についての調査研究  
熊野康子(株式会社フジタ 建設本部 建築エンジニアリングセンター 技術部)

O-05 エアロゾルウイルス噴霧空間における可視光応答型光触媒を塗工した膜材料表面のウイルス低減効果

塩澤優樹<sup>1)</sup>、親川昭彦<sup>1)</sup>、李定<sup>2)</sup>、黒田靖<sup>2)</sup>、石黒齊<sup>3)</sup>、永井武<sup>3)</sup>、砂田香矢乃<sup>3)</sup>

1) 太陽工業株式会社、2) 昭和電工セラミックス株式会社、3) 地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所



9:55 - 10:05 休憩

10:05 - 11:05 シンポジウム I 「健康にやさしい都市・住宅環境とは」  
座長 森千里 (千葉大学)

**S1-01 環境が及ぼす子どもたちへの健康影響**

森千里<sup>1)2)</sup>、江口哲史<sup>1)</sup>、櫻井健一<sup>1)</sup>、宮宗秀伸<sup>1)2)3)</sup>、渡邊応宏<sup>1)</sup>、戸高恵美子<sup>1)</sup>

1) 千葉大学予防医学センター 2) 千葉大学大学院医学研究院環境生命医学  
3) 東京医科大学人体構造学講座

**S1-02 環境と健康を考えた未来世代のための街づくり 研究事例の紹介**

鈴木規道<sup>1)</sup>、中岡宏子<sup>1)</sup>、中山誠健<sup>1)</sup>、高谷一成<sup>1)</sup>、森千里<sup>1)2)</sup>

1) 千葉大学予防医学センター 2) 千葉大学大学院医学研究院環境生命医学

**S1-03 環境改善型予防医学とケミレスタウンプロジェクト**

中岡宏子<sup>1)</sup>、鈴木規道<sup>1)</sup>、中山誠健<sup>1)</sup>、高谷一成<sup>1)</sup>、森千里<sup>1)2)</sup>

1) 千葉大学予防医学センター 2) 千葉大学大学院医学研究院

**S1-04 ケミレスタウンプロジェクト・フェーズⅢ 2017-2022 での展望**

中山誠健<sup>1)</sup>、高谷一成<sup>1)</sup>、鈴木規道<sup>1)</sup>、中岡宏子<sup>1)</sup>、森千里<sup>1)2)</sup>

1) 千葉大学予防医学センター 2) 千葉大学大学院医学研究院環境生命医学

11:05 - 11:15 休憩

11:15 - 12:00 特別講演 「食品の腸内環境に及ぼす影響と疾病との関連」  
岩倉洋一郎 (東京理科大学生命医科学研究所ヒト疾患モデル研究センター)

12:00 - 12:15 総会・評議員会

12:15 - 13:15 昼食

13:15 - 14:15 一般講演 2 座長 野崎淳夫 (東北文化学園大学)

**O-06 高齢者施設の実態調査に基づく室内空気環境改善策の検討 その1 環境衛生管理と冬期室内空気環境の実態**

大澤元毅、林基哉、開原典子 (国立保健医療科学院)

**O-07 高齢者施設の実態調査に基づく室内空気環境改善策の検討 その2 冬期の換気性状と必要加湿量に関する分析**

開原典子、林基哉、大澤元毅 (国立保健医療科学院)

**O-08 高齢者施設の実態調査に基づく室内空気環境改善策の検討 その3 冬期のインフルエンザ感染とエネルギー消費を考慮した改善効果の推定**  
大澤元毅、林基哉、開原典子 (国立保健医療科学院)

**O-09 人体由来の室内臭気物質汚染対策に関する研究**

成田 泰章<sup>1)</sup>、野崎 淳夫<sup>2)</sup>、石井 洋介<sup>1)</sup>、佐久間 俊樹<sup>1)</sup>、福田 幸宏<sup>1)</sup>、一條 佑介<sup>3)</sup>、佐藤 喜政<sup>4)</sup>、佐藤 慎一郎<sup>4)</sup>、三次 幸治<sup>5)</sup>

1) 暮らしの科学研究所、2) 東北文化学園大学大学院、3) 東北文化学園大学、  
4) ナオス・テック株式会社、5) 凸版印刷株式会社

**O-10 石油暖房器具使用時における室内空気汚染に関する研究 (その4) 実大キャンパス内の微粒子、窒素酸化物、アルデヒド濃度の変化**

野崎淳夫<sup>1)</sup>、○土屋貴寛<sup>1)</sup>、佐久間俊樹<sup>2)</sup>、石井洋介<sup>2)</sup>、一條佑介<sup>3)</sup>

1)東北文化学園大学大学院、2) 暮らしの科学研究所、3)東北文化学園大学

**O-11 住宅室内におけるガス及びハウスダスト中の DEHP 濃度の関係**  
鍵直樹、野村佳緒里 (東京工業大学)

14:15 - 14:25 休憩

14:25 - 15:15 一般講演 3 座長 吉田貴彦 (旭川医科大学)

**O-12 レベチラセタムは化学物質過敏症の症状緩和に有効かもしれない**

柿坂庸介<sup>1)</sup>、神一敬<sup>1)</sup>、北澤悠<sup>1)</sup>、藤川真由<sup>1)</sup>、加藤量広<sup>2)</sup>、中里信和<sup>1)</sup>

1) 東北大学大学院医学系研究科てんかん学、2) 同神経内科学

**O-13 化学物質過敏症患者 遺伝子解析の一例**

相田美和<sup>1)</sup>、深町一揮<sup>1)</sup>、石竹達也<sup>2)</sup>

1)長崎国際大学・薬学部、2)久留米大学・医学部

**O-14 労働環境で発症した原因化学物質が特定された化学物質過敏症症例の検討**  
水城まさみ (国立病院機構盛岡病院 呼吸器内科・アレルギー科)

**O-15 アトピー性皮膚炎に奏効した皮下免疫療法の一例: 皮内テストで見つける開始点 MITD (maximum intradermal tolerated dose)**

須藤京子 (名張市立病院)

**O-16 低濃度メチル水銀はオートファジーを活性化する**

高根沢康一、中村亮介、曾根有香、浦口晋平、○清野正子 (北里大・薬)

15:15 - 15:25 休憩

15:25 - 16:15 一般講演 4 座長 本堂毅 (東北大学)

- O-17 脳脊髄液減少症と化学物質過敏症および電磁波過敏症の関連性に関する調査研究 ～薬剤師からみた脳脊髄液減少症の症例報告～ (第1報)  
鈴木高弘<sup>1)</sup>、中里直美<sup>2)</sup>、相本恒陽<sup>2)</sup>、菅野洋<sup>3)</sup>、篠永正道<sup>3)</sup>  
1) 日本調剤 薬剤本部、2) 国際医療福祉大学熱海病院 薬剤部、3) 国際医療福祉大学熱海病院 脳神経外科
- O-18 脳脊髄液減少症と化学物質過敏症および電磁波過敏症の関連性に関する調査研究 ～薬剤師による問診票を用いたスクリーニング～ (第2報)  
中里直美<sup>1)</sup>、相本恒陽<sup>1)</sup>、鈴木高弘<sup>2)</sup>、菅野洋<sup>3)</sup>、篠永正道<sup>3)</sup>  
1) 国際医療福祉大学熱海病院 薬剤部、2) 日本調剤 薬剤本部、3) 国際医療福祉大学熱海病院 脳神経外科
- O-19 携帯基地局周辺の家屋における電磁波低減対策  
吉富邦明 (九州大学日本エジプト科学技術連携センター、早稲田大学応用脳科学研究所・環境と健康研究会)
- O-20 低周波磁場が株化マクロファージ RAW264 に及ぼす細胞生物学的影響の検討  
Marootpong Pooam<sup>1)2)</sup>、中山希祐<sup>2)</sup>、西垣千尋<sup>2)</sup>、○宮田英威<sup>2)</sup>  
1) Department of Biology, Naresuan University、2) 東北大学理学部物理学科
- O-21 低周波音被害に於ける人体実験  
窪田泰 (特定非営利活動法人 低周波空気振動被害者の会)

16:15 - 16:25 休憩

16:25 - 17:15 一般講演 5 座長 平久美子 (東京女子医科大学)

- O-22 河川区域内の土壌に沈着した放射性物質が建築周辺環境に及ぼす影響調査  
本多祥平<sup>1)</sup>、小林光<sup>1)</sup>、野崎淳夫<sup>2)</sup>、一條佑介<sup>2)</sup>、土屋貴寛<sup>2)</sup>、成田泰章<sup>3)</sup>、山守諒<sup>1)</sup>、吉野博<sup>1)</sup>  
1) 東北大学、2) 東北文化学園大学、3) 暮らしの科学研究所
- O-23 加熱・非燃焼式たばこの主流煙、副流煙、呼出煙に関する研究 微粒子とガス状物質  
野崎 淳夫<sup>1)</sup>、佐久間 俊樹<sup>2)</sup>、石井 洋介<sup>2)</sup>  
1) 東北文化学園大学大学院、2) 暮らしの科学研究所
- O-24 神経障害性疼痛に対する治療により多種類化学物質過敏症が改善した 10 症例

平久美子、小森 万希子 (東京女子医科大学東医療センター麻酔科)

- O-25 イミダクロプリドによる副腎髄質細胞の機能亢進  
川畑伊知郎、○山國徹 (東北大学 大学院薬学研究科薬理学分野 山國研究室)
- O-26 パーソナルケア製品に含まれる防腐剤の複合曝露評価 —成人女性と幼児の複合曝露量の比較—  
徳村雅弘<sup>1)</sup>、新田しおり<sup>2)</sup>、山口里奈<sup>2)</sup>、三宅祐一<sup>1)</sup>、雨谷敬史<sup>1)</sup>、牧野正和<sup>1)</sup>  
1) 静岡県立大学、2) 東洋大学

17:15 - 17:25 休憩

17:25 - 18:35 シンポジウム II “Chemical Sensitivity and Sick-Building Syndrome” 出版記念シンポジウム —シックビル問題以後の臨床環境医学に関わる研究展開—  
座長 木村穰 (東海大学)

- S2-01 シックハウス症候群～医学、建築、化学の専門家の共著が必要とされた理由  
柳沢幸雄 (東京大学名誉教授)
- S2-02 室内の熱・湿気環境と居住者の健康  
吉野博 (東北大学 教養教育院)
- S2-03 微量化学物質による健康影響に関する公的研究成果を振り返って  
—今後への提言—  
坂部貢 (東海大学医学部・生体構造機能学領域)

18:45 - 20:45 懇親会

一般演題 ポスター発表

- P-01 福島原発事故等により放出された放射性核種(90Sr, 238Pu, 239+240Pu)のヒト乳歯への蓄積の推移に関する研究 第2報 日本と欧州のデータとの比較  
井上一彦<sup>1)</sup>、山口一郎<sup>2)</sup>、村田貴俊<sup>1)</sup>、今井奨<sup>1)</sup>、野村義明<sup>1)</sup>、花田信弘<sup>1)</sup>、櫻井四郎<sup>3)</sup>、佐藤 勉<sup>4)</sup>  
1) 鶴見大学歯学部探索歯学講座、2) 国立保健医療科学院 生活環境研究部、3) 大妻女子大学 社会情報学部、4) 日本歯科大学東京短期大学

- P-02 妊婦の高層居住における健康影響(総流産)と生活形態との関連性について・・・特に妊娠確認前後の性格(神経質・不安感)・運動歴要因・・・  
逢坂文夫<sup>1)</sup>, 渡邊一平<sup>2)</sup>  
1)建築研究開発コンソーシアム(学会員)元東海大学医学部公衆衛生学, 2)元広島国際大学
- P-03 Diet and cooking methods could change the PCB levels in human  
Weiwei Jin<sup>1)</sup>, Akifumi Eguchi<sup>1)</sup>, Masae Otake<sup>1)</sup>, Masahiro Watanabe<sup>1)</sup>, Hiroko Nakaoka<sup>1)</sup>, Kenichi Sakurai<sup>1)</sup>, Emiko Todaka<sup>1)</sup>, Chisato Mori<sup>1)</sup>,<sup>2)</sup>  
1) Center for Preventive Medical Sciences, Chiba University, Chiba, Japan, 2) Department of Bioenvironmental Medicine, Graduate School of Medicine, Chiba University, Chiba, Japan
- P-04 エステル化合物の経皮吸収における carboxylesterase の役割—シックハウス症候群との関連性—  
畑中朋美<sup>1,2)</sup>, 井上貴暁<sup>1)</sup>, 田中 享<sup>1)</sup>, 藤堂浩明<sup>1)</sup>, 杉林堅次<sup>1)</sup>, 内堀雅博<sup>2)</sup>, 青山謙一<sup>2)</sup>, 太田嘉英<sup>2)</sup>, 今川孝太郎<sup>2)</sup>, 赤松 正<sup>2)</sup>, 宮坂宗男<sup>2)</sup>, 坂部 貢<sup>2)</sup>, 木村 稔<sup>2)</sup>  
1) 城西大学薬学部, 2) 東海大学医学部
- P-05 プスルファン処置マウスの精子形成障害における牛車腎気丸の治療効果  
曲寧<sup>1)</sup>, 永堀健太<sup>2)</sup>, 寺山隼人<sup>1,2)</sup>, 倉升三幸<sup>2)</sup>, 小川夕輝<sup>2)</sup>, 坂部貢<sup>1)</sup>, 伊藤正裕<sup>2)</sup>  
1) 東海大学医学部基礎医学系生体構造機能学, 2) 東京医科大学人体構造学分野
- P-06 ネオニコチノイド系農薬の水環境リスクに関する研究  
梅津麻衣<sup>1,2)</sup>, 寺山隼人<sup>1,2)</sup>, 曲寧<sup>1)</sup>, 松本晃一<sup>1)</sup>, 塚本秀雄<sup>3)</sup>, 伊藤誠敏<sup>3)</sup>, 古谷祐生子<sup>1)</sup>, 藤野裕弘<sup>2)</sup>, 坂部貢<sup>1)</sup>  
1) 東海大学医学部基礎医学科系生体構造機能学, 2) 東海大学大学院人間環境学研究科人間環境学専攻, 3) 東海大学伊勢原研究推進部生命科学統合支援センター

6月25日(日)

9:00 - 9:40 一般講演 6 座長 石竹達也 (久留米大学)

- O-27 電磁場不耐症臨床研究の自動化アルゴリズム設計と開発 (経過報告)  
本堂毅<sup>1)</sup>, 角田和彦<sup>2)</sup>, 鈴木 哲<sup>3)</sup>, 宮田英威<sup>1)</sup>  
1)東北大学大学院理学研究科, 2)かくたこども&アレルギークリニック, 3) 仙台高等専門学校ネットワーク工学科
- O-28 電磁波過敏症をめぐる各国の動向: 学校 Wi-Fi と子どもへの影響を中心に  
加藤やすこ (いのち環境ネットワーク)
- O-29 バイオマーカーを用いた電磁過敏症診断の可能性  
上田昌文 (NPO 法人市民科学研究室)
- O-30 風力発電施設の設置された地域に居住する住民への健康影響  
石竹達也<sup>1)</sup>, 原邦夫<sup>2)</sup>, 森松嘉孝<sup>1)</sup>  
1)久留米大学医学部環境医学講座, 2)帝京大学大学院公衆衛生学研究科

9:40 - 9:50 休憩

9:50 - 10:30 一般講演 7 座長 今井奈妙 (三重大学)

- O-31 高校生の化学物質過敏性に関する調査  
鈴木珠水, 馬醫世志子, 大野ゆう子 (大阪大学大学院医学系研究科)
- O-32 化学物質過敏症看護相談室の利用者に関する事例報告  
横井弓枝<sup>1)</sup>, 小川朋子<sup>2)</sup>, 横地風花<sup>3)</sup>, 今井奈妙<sup>4)</sup>  
1) 東邦大学看護学部, 2) 天理医療大学医療学部看護学科, 3) 三重大学医学部附属病院, 4) 三重大学大学院医学系研究科
- O-33 CS 患者に対する歯科臨床の現状  
高塚俊治 (駅前町歯科診療所)
- O-34 小学生の身体症状および行動の様子 (SDQ) と家庭内環境との関連  
土器屋美貴子<sup>1)</sup>, 〇近藤加代子<sup>2)</sup>  
1) 大分大学, 2) 九州大学

10:30 - 10:40 休憩

10:40 - 12:00 シンポジウム III 病院における院内感染の防除  
座長 吉野博 (東北大学)

S3-01 当院での院内感染対策の実際について  
日高 孝子 (国立病院機構 小倉医療センター 呼吸器内科)

S3-02 気流制御による空気感染リスク低減  
森本正一 (新菱冷熱工業株式会社 技術統括本部 中央研究所)

S3-03 病院の空調備設計 —UVGI を利用した感染対策例—  
井田寛<sup>1)</sup>、柳宇<sup>2)</sup>、瀬島峻介<sup>3)</sup>、羽田聡子<sup>1)</sup>、中西芳夫<sup>4)</sup>  
1) (株) 日本設計、2) 工学院大学、3) バイオメディカルサイエンス研究会、4) 日本ピーマック (株)

S3-04 ASHRAE における病院設計の最新動向  
柳 宇 (工学院大学建築学部建築学科)

12:00 表彰式、閉会

13:15 - 16:15 市民公開シンポジウム シックハウス症候群・化学物質過敏症・電磁波過敏症の最新知見と今後の展望  
コーディネーター 北條祥子 (早稲田大学)  
座長: 相澤好治 (北里大学名誉教授)、吉野 博 (東北大学総長特命教授)

PS-01 疫学調査からみた現状と今後の展望 — 環境過敏症は現代人なら誰でも発症する健康障害では? —  
北條祥子<sup>1)2)3)</sup>  
1) 早稲田大学応用脳科学研究所・生活環境と健康研究会代表 2) 尚絅学院大学名誉教授 3) 東北大学大学院歯学研究科研究員

PS-02 アレルギー専門医からみた現状と今後の展望  
西間三馨<sup>1)2)3)</sup>  
1) 国立病院機構福岡病院名誉院長 2) 日本アレルギー学会顧問・名誉会員  
3) 日本アレルギー学会専門医・指導医

PS-03 成人過敏症患者の診療現場からみた現状と今後の展望 —成人化学物質過敏症患者のおかれた社会的問題を中心に—  
水城まさみ<sup>1)2)</sup>  
1) 国立病院機構盛岡病院 呼吸器内科・アレルギー科 2) 早稲田大学応用脳科学研究所・生活環境と健康研究会副代表

PS-04 小児過敏症患者の診療現場からみた現状と今後の展望 —アレルギーやアトピー性皮膚炎による化学物質の防衛と排洩—  
角田和彦<sup>1)2)</sup>  
1) かくたこども&アレルギークリニック、2) 早稲田大学応用脳科学研究所・生活環境と健康研究会

PS-05 過敏症患者の歯科診療現場からみた現状と今後の展望  
青木真一<sup>1)2)</sup>  
1) 秋田県協和町歯科診療所 2) 早稲田大学応用脳科学研究所・生活環境と健康研究会

PS-06 看護相談室の看護師からみた現状と今後の展望 —内側と外側からの調整を通して病の意味を考える—  
今井奈妙<sup>1)2)</sup>  
1) 三重大学大学院医学系研究科看護学専攻基盤看護学実践基礎看護学分野  
2) 早稲田大学応用脳科学研究所・生活環境と健康研究会

PS-07 環境システム工学から見た現状と今後の展望 —身の回りで使われている化学物質について—  
柳沢幸雄<sup>1)2)3)</sup>  
1) 東京大学名誉教授 2) 開成中学・高等学校 3) 早稲田大学応用脳科学研究所・生活環境と健康研究会顧問

PS-08 健康リスク学から見た現状と今後の展望 —一人の健康の保護と持続可能な発展—  
東賢一 (近畿大学医学部環境医学・行動科学教室)

PS-09 法律家からみた現状と今後の課題  
中下裕子<sup>1)2)3)4)5)</sup>  
1) コスモス法律事務所 (弁護士)、2) 中央大学法科大学院客員教授、3) NPO 法人「ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議」事務局長、4) 「グリーン連合」共同代表、5) 早稲田大学応用脳科学研究所・生活環境と健康研究会